

6月1日までの宿題

グループで各自のものを紹介し発表してもらいます！

▶ 教科書81ページの「演習問題3-3」の応用

1. あなたにとって、こだわりを持って購入する商品の一例を挙げてみよう、その際に、どのような情報を収集しようとするのだろうか、列挙しよう！

2. そして、なぜ、自分はその商品にこだわりを持つようになったのか考えてみよう！

1

5月18～25日のレビュー

〇〇に語句を入れよ

1. 〇〇法は消費者の深層にある考えや感情、あるいは、刺激に対する反応を引き出すため定性的な調査技法

2. 〇〇-〇〇(S-Rアプローチ)は人間の行動を〇〇とそれに対する〇〇という2つの側面で捉えて分析

3. ブランドへの態度を変化させるためには・・・① ある属性に関する〇〇を改善する
② ある属性の〇〇性を変化させる
③ まったく〇〇属性を付加する

4. 〇〇〇〇〇〇理論は、情報処理のプロセス自体に焦点を当て、消費者行動を能動的な問題解決行動として捉え、消費者が自ら進んで必要な情報を探索・取得・解釈・統合する内的プロセスに焦点

2

第6回:5月25日・6月1日

第4章

消費行動と消費パターンの分析

消費様式の選択と支出配分を規定するメカニズムを
生活資源の配分と関連付けて検討する！
消費行動分析の3つのアプローチ、「時間配分の理論」を理解しよう！

3

1. 生活資源配分と消費行動

▶ 分析単位としての家族と家計

(1) 家族(family)

→ 血縁または姻縁によって結ばれている人々の集合体のうち、
共住・共食、同一生計のもの

(2) 家計(household)

→ 経済システムを構成する経済主体の一つで、
生計を共にして経済活動を行う最小の単位

(3) 世帯(血縁の有無にかかわらず共住・同一生計の者 一国勢調査などの統計上の概念)

→ 厳密には同じではないが、ほぼ同義

4

1. 生活資源配分と消費行動

▶ 消費行動の規定メカニズム

(1) 生活行動

- 生活上の諸資源(時間・所得・空間)の配分行動
- 消費行動は:家計の支出配分、生活様式を選択など

(2) 生活行動を規定する要因

- 生活環境:人口動態、経済動向、政治情勢、社会的風潮、社会制度、技術動向など
- 生活構造:世帯収入、家族構成、居住形態、資産の保有パターンなど
- 生活意識:価値意識、生活信条、生活目標、生活設計、帰属意識、態度、動機、パーソナリティなど

(3) 生活様式

- 生活上の諸資源をどのように配分し利用していくかという様式、基本パターン

(4) 消費パターン

- 消費様式:所得配分に焦点を当てた財・サービスの選択行動の様式(型)
- 特定の消費様式や消費行為と結びついた製品・サービスの組み合わせ

5

本日の確認事項1 各自で入れてみよう!

1. 生活行動を規定する要因について、 〇〇に語句を記入しよう

- 生活〇〇:〇〇動態、〇〇動向、〇〇情勢、
〇〇的風潮、〇〇制度、〇〇動向など
- 生活〇〇:〇〇収入、〇〇構成、〇〇形態、
〇〇の保有パターンなど
- 生活〇〇:〇〇意識、〇〇信条、生活〇〇、生活〇〇、
〇〇意識、態度、動機、パーソナリティ

6

2. 消費行動分析の3つのアプローチ

▶ 家族の生活構造・生活意識の特徴と消費行動

(1) ライフサイクル・アプローチ

- 家族の形成—発展—衰退—消滅という規則的周期の各段階における生活行動や消費行動を分析対象

(2) ライフスタイル・アプローチ

- 人々の生活の仕方、価値意識を反映したお金の使い方、選択する財やサービス、行動の組み合わせの型(パターン)
- 代表的手法: ①AIOアプローチ: Activities(活動)、Interests(関心)、Opinions(意見)の3つの側面について質問することで測定
- ②VALS(Values and Lifestyles): 約800問の価値やライフスタイル、消費行動に関する質問項目を用いた価値類型の抽出
- ③LOV(List of Values): 9つの価値意識項目を提示し、価値意識を測定

(3) ライフコース・アプローチ

- 個人の生き方(人生)の選択と社会変動を結びつける分析視点、「家族の個人化」が進む現代社会に適した分析視点

7

本日の確認事項2 グループで確認し合おう！

- * 消費行動分析の3つのアプローチ方法を列挙し、概要を説明しよう！

8

3. 消費様式の選択メカニズム

▶ 所得と時間コストによって決まる時間配分

- (1) 時間コストの高低と家計活動の外部化
 - 時間コストの低い家計は家庭内生産型消費、時間コストの高い家計は市場購入型消費を行う
 - 所得稼得能力の高い家計の時間コストは高く、外部化を選択
- (2) 消費様式やパターンが購入する製品やサービスを規定する
- (3) 消費様式の選択プロセスに影響を与える要因
 - ① 家計内要因(経済的要因): 時間コストの上昇→時間節約的消費
: 所得の上昇→時間節約的消費
 - ② 家計内要因(非経済的要因): 家計規模が小さい→家事活動の外部化志向
: 消費技術が高い→家事活動の内部化
: 価値意識(ライフスタイル)
 - ③ 市場要因: 財・サービスの相対価格→財とサービスの代替
- (4) 外部化の進行と消費の多様化
 - 「消費と生産の境界」は固定的なものではなく、消費様式の選択や消費パターンの変化を関連付けて捉えることにより、消費構造の変化を把握しうる

9

本日の確認事項3

各自で入れてみよう！

1. 消費様式の選択プロセスに影響を与える要因に関して、
○○に語句を記入しよう

- ① 家計内要因(経済的要因): 時間コストの上昇→時間○○的消費
: 所得の上昇→時間○○的消費
- ② 家計内要因(非経済的要因): 家計規模が小さい
→ 家事活動の○○化志向
: 消費○○が高い→家事活動の内部化
: ○○意識(ライフスタイル)
- ③ ○○要因: 財・サービスの○○価格→財とサービスの代替

10

5月21日・6月1日のレビュー

1. 消費行動分析の3つのアプローチ方法を
列挙し、概要を説明しよう！
2. 消費様式の選択プロセスに影響を与える要因に関して、
 - ①家計内要因(経済的要因)
 - ②家計内要因(非経済的要因)
 - ③市場要因
 それぞれ毎に具体的にどのような要因が
消費様式にどのような影響を与えているか説明しよう！

11

6月8日までの宿題

グループで各自のものを紹介し発表してもらいます！

- ▶ 教科書109ページの「表4-3」をヒントにして、
110ページの「演習問題4-3」を考えてみよう！
(やや易くして)

* 時間コストが増大する中、食の外部化が進んできたが、
近年では外食化は低下傾向にある、なぜだろうか？
具体的に考えてみよう！

また来週！

12